

# やまと 民俗への招待

やまと 民俗への招待

鹿谷 熱

初めて訪れた土地では氏神をのぞくことが多い。まず参拝してから、祭りの痕跡や拝殿の絵馬、狛犬や石灯籠などを見る。

あれ程豪華な出し物で知られる「長崎くんち」の舞台、長崎市の諏訪神社には、家出止め・借金止め、受験すべり止め・禁酒・禁煙など「止め事成就」の一対の狛犬があり、両足には白いコヨリが無数に巻き付けられてい

奈良市薬師堂町の御靈神社でも、狛犬に家出入の足が止まるよう、男女が長く一緒にいられるように、色とりどりの紐が巻き付けられている。

## 「足止め」「陰膳」祈り今も

狛犬の足には、時じて履物が括り付けてあることがある。安堵町の飽波神社では、下駄やサンダルが括り付けてあった。家を出た人がこれよ

り先には行かぬように、その人の履物を括る「足止め」だという。

河合町の素盞鳴神社では、狛犬の足に何か紙切れが結び付けてあり、「早くもとへ帰れ」と祝文の一

部が見えていた。

こうした足止めの祈願は、各地で行われている

こと。鳥取県米子市の松本京子

は、各地で行われているが、履物で祈願すると、狛犬に足止めの祈願をしたのだろうと思った。

今年1月13日には、拉致被害にあつた神戸市の有本恵子さん(当時23歳)

の58回目の誕生日を祝う

ご両親の様子が、本紙を

はじめ各紙で報道されて

いた。ケーキやご馳走が

並ぶ写真が添えられて

いたが、余分な膳は「陰膳」

だった。

「足止め」「陰膳」という人々の切実な願いを

込めた民俗信仰が拉致の背後にあることを、新聞各紙はそれとなく私たちに伝えていた。

(奈良民俗文化研究所代表)



色とりどりの紐が巻き付けられた狛犬  
＝奈良市の御靈神社で、筆者提供

ンダルを持って神社に行き、「遠くに行かないよう願掛け」をしたという記事だった(2002年11月27日付読売新聞夕刊)。無事に戻れるよう狛犬に足止めの祈願をしたのだろうと思った。

今年1月13日には、拉致被害にあつた神戸市の有本恵子さん(当時23歳)

の58回目の誕生日を祝う

ご両親の様子が、本紙を

はじめ各紙で報道されて

いた。ケーキやご馳走が

並ぶ写真が添えられて

いたが、余分な膳は「陰膳」

だった。

「足止め」「陰膳」という人々の切実な願いを

込めた民俗信仰が拉致の背後にあることを、新聞各紙はそれとなく私たちに伝えていた。

(奈良民俗文化研究所代表)

表)

II 次回は3月20日